



- 3 東日本大震災復興支援イベント開催
- 5 コミュニティーネット「チェサロン・デイサービス」
- 6 親睦の会だより「楽しかったお話とビンゴ大会」
- 8 JCS日本語学校だより
- 10 教育支援委員会より「継承日本語について②」
- 13 あの頃のシドニー第2回「1972年」
- 14 オーストラリアで家を建てよう第18回
- 15 キラリと光る「ディアンシンゆりやさん」
- 16 新連載「シドニーウエストサイドストーリー」①
- 18 Let'sアート「特別展:The photograph and Australia」
- 22 仏教語からできた日本語「達磨」

みんなが一緒に集まってイースターをお祝いしています。

(坂口舞)

編集から

投稿原稿募集!

原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「探し物」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

読者から

読者の声募集!

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んだ感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多に役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽にお寄せください。投稿先は、Email: hbma@optusnet.com.au まで。 ※内容や文字数など、編集上の決まりによって、要約したり、場合によっては掲載を見合わせる場合があります。

クリーン・アップ・オーストラリア レーンコーブ・ナショナル・パークでゴミ拾い!

オーストラリア最大のボランティア活動で全国一斉に公園や浜辺をきれいにするクリーン・アップ・オーストラリアが今年25周年を迎え、3月1日(日)に全国6,165カ所で、合計52万6,268人が参加しました。この日全国で合計1万3,563トンのゴミが集まりました。

シドニー日本クラブでは今年もシドニー日本人会の皆さんと一緒に、Lane Cove National Parkでのゴミ拾いに参加しました。今年のクリーンアップには、シドニー日本クラブから大人17人、子ども二人の合計19人が参加。日本人会の皆さんと合わせて総勢185人が参加するという、これまでにない規模となりました。終了後のBBQには155人が参加して、ゴミ拾いで一汗かいた後の食事を楽しみました。

また、林さゆり理事(親睦の会会長)とお母様、そして橋本克子さんが、いなり寿司を80個も作って差し入れてくれました。とても美味しく頂きました。ありがとうございました。

午前9時から11時まで行なったゴミ拾いでは、ジュースの缶やビール瓶のほか、車の部品や掃除機、テレビなどの大型ゴミも集まりました。



BBQの様様



参加者に注意を伝える水越会長

本誌のカラー版は、電子版をダウンロードしてお楽しみください。

www.japanclubofsydney.org

JCS年間行事予定

| 月 | 会全体 | 親睦の会 | コミュニティーネット | City校 | Dundas校 | その他イベント |
|----|---------------------|----------------------|-------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---------|
| 4月 | 理事会(1日) 本誌発行(7日) | 例会「自己診断とケアサービス」(18日) | シニアのおしゃべりサロン(22日) | 学期間休暇 | 学期間休暇 | |
| 5月 | 理事会(6日) 本誌発行(4日) | 例会(16日) | シニアのおしゃべりサロン(27日) | 始業式、子供の日(2日)、TC会議(16日)、スピコン委員会(23日) | 始業式、年次総会保護者会(2日)、TC会議(9日)、古本市(23日) | |

東日本大震災復興支援イベント開催

2015年東日本大震災復興支援イベントが、3月7日(土)～15日(日)の期間、シドニー市内2カ所で開催されました。3月7日(土)は、マンリービーチのプロムナードCORSOで、野外ステージのパフォーマンスと、東北支援のストール販売が催されました。

ステージでは11時から、和太鼓りんどうの力強い呼び太鼓の響きに始まり、日本人合唱団SAKURAが、「上を向いて歩こう」「故郷」「浜辺の歌」「花は咲く」の4曲を合唱。女性デュオのQP★ハニー！や、弾き語りの田中誠氏も持ち歌を披露しました。MOSAIC盆踊りチームによる盆踊り、JCSソーラン踊り隊による、力強いよさこいソーランの踊りも披露されました。

会場には、折り紙アーティストのみどりFurze氏



による108羽の白い折り鶴が飾られ、ステージではジャンボ折り紙による折り鶴実演も行われました。

ストール販売では、レインボープロジェクトによるチャリティーバザー、Art Labによる東北被災工芸品の展示販売、福島県浪江町出身の日本画家、舛田玲香氏の日本画の販売、Tokyo Kimonoボランティアズの着付け体験と着物販売、Colotakoのレモンジュース、日本人カソリックコミュニティのラッフル、Play for Japanによる日本国旗へのメッセージ記入など盛り沢山の内容に、多くの観客が立ち寄り、パフォーマンスを楽しんだり、展示品を眺めたり、寄付をしてくれました。ボランティアスタッフだけでも100名以上が集まり、一日で3,000ドルを超える収益金が集まりました。

震災発生日の11日には、Balmainの和風旅館「豪寿庵」で記念行事が行われました。震災発生時間の午後4時46分(日本時間2時26分)には、浄土真宗本願寺派の渡部住職による1分間の黙祷が行われ、全員で合掌をしました。

続いて、福島県浪江町からのゲスト、松永武志氏による講演会、同じく浪江町出身の舛田玲香氏によるスピーチ、また、震災当時に岩手県大船戸市で英語教師を務めていて被災した、オーストラリア人のアリス・バイロン氏が震災当時の状況を説明すると、参加者の中には涙をぬぐう人もいました。震災直後から、岩手県大槌町でボランティア活動をしながらか写真を撮りためていた伊藤みさき氏が、被災地の写真の数々を展示しました。

そのほか、東京マート、Jun Pacific社による東北産日本酒の利き酒、佐野茂記氏による雅楽演奏、書家の



松永武志さん(左)と、福島の工芸品(上)

矢野れん氏による書のメッセージ、平林純子氏による日本舞踏が披露されました。最後に、旅館内の日本庭園と池にキャンドルと灯籠を灯し、犠牲者の追悼をしました。

イベントは15日まで、被災地写真の展示、工芸品の展示販売、スクリーンによる被災地状況の紹介などを終日開催しました。最終日の15日には、クローズネストにある「ガイアハウス」にて、セラピー、カウンセラー、ヒーラーの方々が集まり、福島被災児童支援、レインボープロジェクト義援金協力のためのセッションを開催。こちらも沢山の皆様のご協力のおかげで、1,280ドルの義援金が集まりました。

このように1週間にわたる震災復興支援のイベントでしたが、ご協力くださったボランティアの方々、沢山の参加者のおかげで、全ての行事が大成功に終わり、多額の義援金が集まりました。深く感謝を申し上げます。

最後に、今回のスペシャルゲストとして福島県から来られた松永武志氏についてご紹介します。松永氏は慶応大学在学中、国内外にベンチャー企業を立ち上げて大成功を収め、26歳という若さで雑誌「アエラ」の「日本を突破する100人」の一人に選ばれました。

松永氏の実家は、江戸時代から伝わる福島県浪江町の国指定伝統工芸品「大堀相馬焼き」の窯元で、松永氏は4代目です。しかし、浪江町は福島原発から20キロ圏内の帰還困難区域で、今ではゴーストタウンと化しています。震災以降、20軒以上あった窯元や工場は閉鎖を余儀なくされましたが、地元産業の伝統を守るために、松永氏は大堀相馬焼きの再興に奮闘されています。今回、大堀相馬焼きを紹介するため、このイベントに特別参加されました。

日本の伝統的な焼き物と彼が生み出した新しいデザインとの融合が受けてか、期間中に作品は完売となりました。海外では、パリの展示会に出品したり、マレーシアの伊勢丹などで販売されていますが、今後はシドニーでの販売展開も検討中です。どこかで大堀相馬焼きの陶器をみかけましたら、この話を思い出して頂ければ幸いです。

福島県被災児童支援プログラム
JCSレインボープロジェクト運営代表
平野由紀子

3月の 理事会から

日時: 3月4日(水)、19時~21時 場所: Dougherty Community Centre, Chatswood
 出席: 水越有史郎、チャーカー和子、岩佐いずみ、渡部重信、宮川首席領事、フレイザー悦子、コス
 テロ久恵、平野由紀子、藤田結花(書記)
 欠席: 林さゆり、多田将祐、新開珠貴、山田朝子、ジョアネス恵美、松井香代子 (敬称略、順不同)

1. 2015年度JCSイベントの日程確認

【JCSフェイト】7月4日(土)または11日(土) 予定。場所はAuburn Community Picnic Area。至急Auburnカウンシルに空き状況を確認。時間は11~3時。昨年同様、親睦の会会員のためにバス手配も必要。フェイトの担当としてCostello理事に依頼した。

【忘年会】11月28日(土)または29日(日)、12月最初の土日。場所は昨年の忘年会の候補だった「King Fook Chinese Restaurant」(チャッツウッド)を検討。当日の参加人数で対応してくれるなど融通がきく。忘年会の担当を平野理事にお願いした。

【祭り】11月7日(土)にほぼ決定。スクールホリデー中ではないので、日本語学校保護者からのボランティアは期待できない。JCSがボランティアを募り、トレーニングをすることになる。祭り担当は水越会長。

2. 2015年第1回祭り実行委員会報告

20015年の祭り会場について説明があった。Darling HarbourのPalm CoveとAmphitheatreの2カ所を借りるか、もしくはたくさんの人数を収容できるPyrmont Bay Parkが候補。広さはPyrmont Bay Parkがよいが、離れているので集客が不安。また、音響だけでなく仮設トイレを設置する必要がある。Darling Harbour以外ではBelmore Park、Hyde Park、Domainなどを検討したが、広さや予算が合わなかった。

3. 2014年度JCS祭り収支

\$635.98の赤字。浴衣は売れたが、日本の購入金額が高いので、沢山のマージンを上乗せするわけにはいかなかった。中国から直接輸入できるが、相当量を購入する必要があるので適当ではない。金魚すくい好評なので、昨年以上に金魚を用意して少しでも多くの収益がでるようにしたい。また、アニメキャラクターなどの風船販売の提案があった。

4. スプリングフェスティバル

毎年9月のパレード参加のみだが、今年は何かイベントを行い、グラントを申請してみてもどうかと提案があった。利益を見込むことなくコミュニティーのために日本文化の紹介が目的。グラント申請条件として、集客数などある程度見込みを知らせる必要がある。今回のグラント申請は、JCSがコミュニティーに貢献していることを知らせる良い機会であり、今後、他の事項でグラント申請する際、実績があることは非常に優位であると思われる。グラント申請はチャーカー理事とフレイザー理事が担当。

5. ハーグ条約に関するセミナー開催

専門事例を扱う山本弁護士にお願いする予定。質疑応答含め2時間までのセミナーを予定。今年中に開催したい。総領事館の協力も得て、ハーグ条約の概略を説明してもらう。具体的な事例は山本弁護士にお願いする。グラントの申請条件によって時期を決定。対象は在留邦人。参加費を徴収(会員無料、一般有料)。片親が日本人の家族だけでなく、両親が日本人であっても有効な情報である。グラント申請をチャーカー理事にお願いした。

6. 震災復興イベント最終報告

3月7日(マンリー)と11日~15日(豪寿庵)に開催。屋台売上の30%をレインボープロジェクトに寄付。6団体がイベントに出店し、売上の50%を東北とレインボーに寄付してもらう。震災孤児を支援する落合かおりさんも参加。着物普及のグループが着物販売と着付けをする予定。コロタコはレモネードを販売。11日の式典には、渡部理事、ゲストに大堀相馬焼4代目の松永武士氏、日本画家の舛田玲香氏の参加予定。

総領事館には来年の震災5周年イベントにサポートをお願いしたい。時期として来年3月11日(金)を予定。主に東北関係の方々がボランティアの予定。

7. クリーンアップオーストラリア報告

日本人会との合同イベント。参加総人数185名(BBQには155名が参加)。JCSからは会長をはじめ19名(大人17名、子供2名)が参加した。公園道路際のゴミがたくさん回収された。幸い事故もなく無事終了した。来年も宜しくお願いします。

8. NSW豪日協会のイベント案内

NSW豪日協会主催のローンボウリング大会が、3月21日(土)に開催される。JCSはこのイベントの後援をしている。

9. その他

- ①半被の寄付があった。会報で紹介する予定。
- ②年会費の未納世帯数報告。

10. 会員数

総世帯数: 307世帯 (JCS132世帯、シティ校110世帯、ダングス校65世帯)

※次回の理事会は、4月1日(水)午後7時より、Dougherty Community Centreにて開催。



「チェサロン デイサービス」:4月22日(水)

ロンガヴィルの閑静な住宅街にある、65歳以上の日系の方を対象とした「シニアのためのサロン」です。チャットウッドからの送迎バスに加え、センター近くの方にはご自宅への送迎が可能です(事前にお問い合わせ下さい)。初回のみ登録のための用紙記入が必要となります。人数に制限がありますので、継続参加が可能な方歓迎です。お試し参加可能(有料)。

(事前申し込み必須。キャンセルは2日前までをお願いします)。

さて、2015年度2月の会は、永井さんのピアノ伴奏とともに歌ったあと、Show & Tell、そしてお昼には小町チャットィーズのお弁当をいただきました。午後は、Rehab on the MoveからSue Sweeneyさんを招いて「体と頭の体操」講座を楽しみました。体と頭の健康を保つには社会とつながりを保ちながら刺激に満ちた豊かな環境で暮らすことの大切さの他、心身を鍛えるエクササイズのアイディアもたくさん教えてもらい有意義な会となりました。



3月の会は、いつものように永井さんの素敵なピアノの伴奏に合わせて歌った後、Show&Tellや川柳のお話をして盛り上がりました。午後は、小町チャットィーズのお弁当の後、14筋体操とアロマハンドマッサージを楽しみました。全身を使っての14筋体操の効果で目や耳だけでなく、脳も活性化され生き生きと充実した時間を過ごすことができました。

開催日:4月22日(毎月第4水曜日開催) 時間:午前10:30~午後2:30

会場:チェサロン・アングリケア・デイセンター(ロンガヴィル)

Christina & Arabella St の角, Longueville 2066

無料送迎バス:モザイク前(MOSAIC, 12 Brown Street, Chatswood) 午前10時出発(時間厳守)

参加費: \$ 15(和食弁当、お茶菓子含む)

活動内容:ちぎり絵、スケッチ、編み物、歌、脳トレーニングゲーム、習字、タイチ等

申込先:コミュニティネット jcscommunitynet@gmail.com

ピーコック京子 9869-1972

日本語対応「もしもし電話窓口」



0423-037-180

オーストラリア連邦そして州政府による福祉機関でどのようなサービスが受けられるのか、また高齢者としてどのような選択があるのかをお調べすることができます。たとえば、芝刈り、認知症についてのデイケアなどのサービス、また、買い物の付き添い、シ

ーツの洗濯/取り替えやシャワーのお手伝いなど、毎日の生活に不自由を感じてきたらお気軽にお電話ください。なお、ご案内はCNメンバーによる対応で日本語ですが、サービスはいずれも基本的に英語となります。

親睦の会 だより

皆さんの地区幹事

- ・A地区 (North Sydney以南) : 竹内美佐子 (Tel: 9482-3004)
Email: stormeads@gmail.com
- ・B地区 (Chatswood以东) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com
- ・C地区 (St. Ives以北) : 朝比奈富美子 (Tel: 9453-0058)
Email: fumikopixie@gmail.com

親睦の会役員

会長: 林さゆり、副会長: 有泉浩子、会計: 宮下義夫、会計監査: リヒター幸子
ボランティア: 岸美枝子、竹内美佐子、橋本克子、村田智富子、鷺頭富江 (五十音順)

【会員募集】 会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、昼食を食べながらの情報交換、様々なテーマで講師をお招きするなど、毎月趣向を凝らした内容が盛り沢山。現在約90名の会員がいます。JCS会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

【2015年4月例会のお知らせ】

「元気を長～く維持するための自己診断とケアサービス」

ケアサービスで実際に使われている質問用紙を使って自己診断をしてみましょう。オーストラリアには国の補助で成り立っているコミュニティ・サービスがあり、国籍を問わずどなたでも利用できます。日本語で受けられるサービスも増えてきて便利になりました。実際の事例も取り入れて参考になるサービスをご紹介しますながら、みなさんと話し合いたいと思います。

■日時: 2015年4月18日(土) 正午～午後3時

■会場: The Dougherty Community Centre
7 Victor Street, Chatswood

※参加の場合は4月15日(水)迄に、地区幹事までお弁当の数もご連絡ください。

■講師: 浅野輝美氏 (Uniting Care)

■会費: 会員\$5、非会員\$7(お茶・コーヒー・紅茶代込)

■マイカップもお忘れなく

この頃は、殆どの参加者がマイカップをお持ちくださっています。経費節約の為のマイカップ運動にご協力ありがとうございます。

■お弁当の注文 和食弁当\$12

今までは\$10でしたが、お弁当屋さんから物価上昇の折り\$12に値上げすると連絡がきました。月例会で会員と相談した結果、今までお世話になっているお弁当屋さんなので引き続き作ってもらうことになりましたのでご了承ください。

【2015年3月例会の報告】

「楽しかったお話とビンゴ大会」

3月21日(土) 初秋を感じる涼しい日、チャッツウッドのドガティー・コミュニティ・センターで開催しました。踊りの会にも入っている会員は、Auburnでのイベントで踊るため残念ながら参加できず、幾分かじんまりとアットホームな月例会となりました。

和食弁当を食べた後、林さゆり会長の司会進行で案内事項のお知らせの後、オーストラリア生活が長い保坂佳秀さんと生方光雅さんに来豪当時の様子やその時分に楽しかったことをお話いただきました。



在豪歴35年、シドニー日本クラブ初代会長の保坂佳秀さん。大変貴重なお話をありがとうございました。これからもお元気でいらしてくださいね。

保坂さんご夫婦は1980年12月にシドニー空港に降り立られ、それ以来35年に渡りシドニーに在住なさっています。当時オーストラリアでは、移民してきた人達に10週間の英語レッスンサービスがあり、そのレッスンを受けられたそうですが、英語を話せずに来たのでなかなか堪能にはならず、単身で下宿生活も試みたそうです。それでも成果は上がらず、会社に就職してからも電話の返答にはご苦労され、帰宅すると声が出ないという事態になっていたそうです。そして「退職した今でも自宅に電話がかかってくると、当時のトラウマで、恐くて電話がとれないんですよ」と苦笑なさいました。

日本では、過酷な残業を経験していたので、週休2日残業なしの会社勤めでは、趣味である釣りを楽しむ時間が豊富にとれたそうです。「その辺の貝を餌にして、簡単に魚が釣れたんですよ」と懐かしみながら話してくださいました。食事の面では、当時から既に炊飯器も売られていて、チャイナタウンに行くと白菜や生ネギ、味噌、醤油など和食を作る材料が揃ったので、これならシドニーで暮らしていける、生きていける、と奥様も思われたそうです。

現在に至るまで続いているシドニー日本クラブ (JCS) の立ち上げにも貢献され、1982年に初代会長を務められました。そして翌年には「JCSニューズレター」第1号を発行し、今月は「JCSだより364号」にもなって継続されています。

当日は、1984年に開かれたシドニーフェスティバル

で、日本がゲストカントリーに選ばれ、オペラハウスの前で餅つきをしたのを機に作られたハッピを羽織ってくださいました。そのハッピ約25枚は、現在林さゆり会長が保管役として、イベントの度に会員に貸し出していますが、ハッピに書かれている「シドニー日本クラブ」という文字が少しずつ剥がれ、年季が感じられます。

1998年には『オーストラリアの日本人～一世紀をこえる日本人の足跡～』と題した記念誌を、当時の日本クラブ会員の総力を挙げて刊行されました。3月例会では、会場にいた希望者に惜しみもなく配布してくださいました。大変貴重な記念誌をありがとうございました。当時の写真も載っており、みなさまとてもお若いです。皆様のお陰を持ちまして、現在の日本クラブが存続しています。心から感謝申し上げます。興味深い話にどんどん吸い込まれていきましたが、残念ながら予定時間も過ぎてしまいました。大変価値のある我らJCSの歴史に係わるお話をありがとうございました。



在豪歴45年、日本人の永住者としてシドニーでは2人目の生方光雍さん。ユーモアたっぷりの面白いお話をありがとうございました。また聞かせてください。

「さあて、今日は面白いお話をしてください、ということですから、面白いお話を用意してきましたよ。与太話ですけどね！」と断られて始まった話は、さすが川柳の名手だけあって、ユーモアたっぷりの軽快なリズムで淡々と語られました。ではご紹介しましょう。

日本に帰った時にガールフレンドができました。ミヨちゃんという10歳の女の子です。お母さんとおばあちゃんとの3人暮らしをしていました。ケーキを持

って自宅を訪ね玄関のベルを押すと、ミヨちゃんが印鑑を持って出てきました。ピンポンと鳴ると宅急便かと勘違いをしたのです。そのミヨちゃんは犬を飼っていました。その犬は頭から尾っぽまで真っ白。そうなのです。“尾も白かった”“面も白かった”おもしろいお話でした～。会場を爆笑の渦に包んでくださった生方さん、ありがとうございました。また違う面白い話で笑わせてもらうのを楽しみにしています。

大好評のビンゴ大会の時間となりました。親睦の会からも沢山の景品を用意しましたが、気を利かせて寄贈くださった会員がいらっしゃいました。ウイルメット京子さん、ビンゴの度に傘をありがとうございました。秋山喜美代さん、美味しいチョコレートをありがとうございました。ウエストン和枝さん、手編みのひざ掛けとマフラーをありがとうございました。これから寒くなるので人気の品でした。橋本克子さん、可愛らしい瓶に詰めた手作りイチゴジャムをありがとうございました。今回はいつもと違ったルールで、一人がビンゴになった後も引き続き手持ちのカードでゲームを続行し、最終的には全員がビンゴとなるようにしました。ビンゴ終了後は、家族へのお土産を手にして笑顔で記念撮影をしました。

毎度ながら準備に追われた役員、お疲れさまでございました。次回のビンゴ大会も楽しみにしていますので、よろしくお祈りします。

【お知らせ】

■高橋克海さん、ヤング京子さん(五十音順)より、書籍並びにDVDの寄贈がありました。月例会の古本市で販売させていただき、収益金は親睦の会の運営に有り難く使わせていただきます。ご協力誠にありがとうございます。

■昨年末にゴルト良子さんが寄贈くださった手帳を未だもらっていない会員には、例会時に差し上げています。良子さんありがとうございました。昨年から出席できていない会員は、参加時に申し出てください。

■3月例会の参加者の中には、3月生まれの方がいらっしゃいませんでした。4月例会時に3月生まれの方がいらっしゃいましたら、4月生まれの方と一緒に祝いしたいと思っております。

■以前配布しました会員名簿の電話番号に誤りがありました。訂正した名簿をお配りしましたが、未だ受け取られていない方は、次回の親睦の会でお受け取りください。



面白かったお話を聞き、ビンゴで大いに楽しみました。

JCS日本語学校シティ校 JCS Japanese School

- 学校: Ultimo Public School
(Cnr Quarry & Wattle Streets, Ultimo NSW 2007)
- 連絡先: PO Box 902, Glebe NSW 2037 電話: 0407-461-618
- 授業: 毎週土曜日 / 幼児部: 9:30~12:10、小学部: 9:30~12:15
- Email: jcs-jpschcity@hotmail.com
- http://cityschool.japanclubofsydney.org/



ひな祭りイベントと保護者会

シティ校では2月28日にひな祭りのイベントとしてお雛様と一緒に写真を撮りました。今年も立派なお雛様を龍組の朝倉先生よりお借りして写真撮影を行いました。初めて本物のお雛様を見たという子もたくさんいて、みんな興味津々でした。日本の文化に触れるというとてもよい機会になったのではないのでしょうか。



また、3月7日と14日にはクラス保護者会が行われました。新しいクラス担任より授業内容、学習目標の説明がありました。週に一度3時間の勉強だけではなくなかなか日本語を維持していくのは難しいところです。保護者の方々も宿題をしっかりとやらせる、日本語にふれる機会を増やすなど、ご家庭でできるところはなるべくご協力していただくと先生方も授業を進めやすくなると思います。何ととっても日々の努力が生徒の自信に繋がることでしょう。



クラス紹介 龍組

龍組は昨年のすばる組に続いてシティ校の最高学年、毎年記録を更新しています。今年は新しい仲間も加わってYear 7からYear 11まで12名でのスタートになりました。Y7 2名、Y8 3名、Y9 2名、Y10 3名、Y11 2名、しかも男子6名、女子6名というバランスのいい構成です。ある時それに気がついた生徒に「先生が一人半端でかわいそう」と同情されてしまいました。「大丈夫よ、泣かないから」と答えるとみんなで大笑い。とにかくいつも笑いが絶えないクラスです。

なんといっても龍組の一番の自慢はクラス全員の仲がいいこと。だれかが少しでも「ムッ」とするところを私は見たことがありません。友達を見る視線がとても優しいのです。皆がそれぞれの個性を尊重して、お互いを温かい目で見ています。休み時間には男子も女子も、Year 7もYear 11も皆入り混じって同じ話題で盛り上がります。笑いの絶えない楽しいクラス、素敵でしょう。

次の自慢はよく勉強すること。日本の教科書は「4年下」を勉強していますが、その他に毎週テーマを決めて300~400字の手紙や作文を書いています。今年の目標は600字です。大人でも400字の作文を25分以内に書け、と言われたら気が重いですよね。彼らは大丈夫です。内容のしっかりした文章を漢字を交えてきちんと書きます。他に毎週、私が読み上げる会話を聞いて内容のポイントを聞き取る勉強もしています。これはもう完璧にできるので、最近では聞き取ったポイントに自分の意見を加えた文章を書くことにしました。これも大丈夫。たった3時間の授業時間の中で、このように日本語で考えて日本語で長い文章を書く人たち、素敵でしょう。

そして最後の自慢はダンスがプロ級(とわたしは思っている)にうまいこと。実は過去3年、このクラスは年末のクラス発表会でヒップホップダンスを披露してきました。振り付けも指導もすべてクラスの一員、山田陸くんがしてくれます。彼は自身のダンスはもちろん指導も本当にすばらしくて、しかもそれを受ける他の生徒たちも才能あるダンサー揃いです。年々上達して昨年は「クラス発表会1回だけのパフォーマンスで終わるのはもったいないよね」という話まで出ました。とにかくみんなかっこいいんです。素敵でしょう。

そう、これが私の自慢の龍組です。わたしたち日本人の血を引くこの素敵な若者たちを見ていると、次の時代はもっとよくなるぞ、と未来への希望と期待が広がります。

(担任: 朝倉則子)

JCS日本語学校ダundas校 JCS Japanese School Dundas

- 学校: Dundas Public School
(85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)
- 連絡先: 電話: 0411-734-819
- 授業: 毎週土曜日/9:30~12:15
- Email: jcs-jpschdundas@live.com
- http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html



クラス紹介 大地組

今年の大地組は、元気で、そして個性豊かな、10人の子供達が日本語を学んでいます。1学期を通じて、子供達も新しいクラス環境に慣れてきた様子が窺え、休み時間もみんなで一緒に過ごすほど、本当に仲が良いクラスです。

大地組では1年間を通して、2年生下から3年生上レベルを国語の教科書に沿って学習していますが、教科書以外の教材、日本文化を取り入れた工作やゲームなどのアクティビティーも多く取り入れ、子供達が出来だけ日本語に興味を持って取り組める授業を目指しています。

このクラスでは、1年を通して180字の漢字を学びます。漢字学習の一環として、毎週必ず、漢字のミニテストを行っています。漢字が苦手という子供達も多いので、出来るだけ楽しく、積極的に取り組んで欲しいと思い、漢字パズルの問題などを取り入れています。その成果もあったのか、子供達のテストに挑む姿は真剣そのもので、テストが終ると、「全部出来きているか確認して!」と、目を輝かせながら、テスト用紙を渡してきます。

また、正しく文を作れる練習になればと思い、文法の授業を毎週取り入れ、助詞、助動詞などの使い方、主語述語、言葉の繋がりなど、文を組み立てる為に必要な文法を学習しています。2学期からは少しずつ、日記や作文など、書く機会を多く取り入れ、日本語で表現する力を伸ばしていければと思っています。

そして、言語を学ぶだけでなく、日本の文化を理解する事も大切だと思い、日本語学校の限られた時間の中で、日本の文化を子供達に紹介しています。今学期は、節分や雛祭りの文化を学ぶ機会があり、折り紙を使って、工作を楽しみました。節分では、福と鬼の顔を折り紙で折り、「福は内、鬼は外」と書いた飾りを作りました。そして、雛祭りでは、お内裏様とお雛様、そして桃の花びらを折り紙で作りました。

仕上がった飾りやカードを、嬉しそうに見せ合っている姿から、とても楽しんでいる様子が窺えました。

この1年間、子供達の日々の成長を見守りながら、日本語学校って楽しい、もっと勉強したいと思う授業をどんどん取り入れていきたいと思っています。

(担任: リー香奈子)

ひな祭りと手形取り

シドニーも秋に入り、急に朝夕が涼しくなってきましたが皆様如何お過ごしでしょうか。

ダundas校では無事に新学期を終えましたが、学期の最後には新入生たちも学校に慣れて笑顔が沢山見られるようになってきました。

2月28日にはひな祭りの授業が各クラスにて行われ、歌を唄ったり、工作で雛人形を作成したりしました。また、イースターホリデー明けの子どもの日に備えて、3月7日・14日には新入生の手形を取りました。この手形はうろこ状に各生徒の保護者が縫い上げ、歴代の子供達の手形と一緒に大きな鯉のぼりにボランティアの保護者が縫い付けてくださる予定です。設立当初に小さな手形を取ったお子さんも今では中学・高校生となり、感慨深いものがあります。



JCS教育支援委員会より 継承日本語について②



今回は、国語教育を受けてきた日本人の親の私たちが、国語教育と継承語教育の違いを学び、継承語話者の子どもの置かれている環境を探っていきましょう。

継承語話者は、聴解型(その言語を聞けば理解できる)、会話型(その言語で問題なく会話ができる)、学習言語習得型(学校などでその言語を学習する)の3つのタイプに分かれます。

継承語教育と国語教育の違い

国語は、日本で生まれ育ち、日常生活の中で自然と日本語を学び、就学前までに既に5,000語ほどの基礎語彙力、基礎文法力を習得しているとされているのに対し、継承語話者は、育っている環境が違うために、かなりの個人差があります。

国語教育では、教科書の物語を音読すれば、読めない漢字や語彙が少々あったとしても、おおよそ理解できますが、継承語話者は、すらすらと読めることができたとしても、内容を理解できている子とそうでない子に分かれます。

国語教育の場合、読めない漢字の読み方を教えれば読めて内容も理解できますが、継承語教育では、漢字の読みを教え、すらすらと読めたとしても、それが即、必ずしも物語の内容を理解していることには繋がらない場合があります。

例えば、「皮肉」という熟語を例に取ってみましょう。「皮」と「肉」それぞれの漢字の読み方も意味を知っていても、2つの漢字が重なり熟語となったときには意味をなしません。

この場合、「皮肉」という熟語としての意味を知らないと、国語教育のように「何度も繰り返し読むと理解できる」ということには決してなりません。

また、国語教育では、戻り読みはよくないとされていますが、継承語教育では、戻り読みは、その言葉の意味を読み取ろうとしている証拠なので、最初は何度も戻り読みをし、その行動は、継承語教育ではよいとされているそうです。

このように、私たちの国語教育としての常識が、継承語話者にとっては決して常識ではないことが多々あるようです。

(JCS日本語学校ダングス校教師 サマトちづる)

クラブライフ



3月も各イベントとゴールドコースト遠征で踊りました

3月7日(土)は、マンリーで催された東日本大震災の復興祈念イベントに参加しました。震災4年目となる恒例のイベントで今年も踊りました。

15日(日)には、サーキュラー・キーで開催されたチルドレンズ・フェスティバルに参加。各エスニックコミュニティの子どもたちによる催しです。踊り隊の子どもは2人だけでしたが、大人と一緒に元気よく踊りました。

22日(日)はゴールドコーストに遠征して、日本の祭りに参加してきました。毎年恒例のお祭りにシドニーから参加しています。シドニーの日本の祭りにもゴールドコーストからよさこいチームが参加してくれ、お互いに交流を続けています。よさこいチームの交流が各地で行なわれ、広く日本の文化が伝えられることを願っています。今年も数々のイベントに参加して、日本の踊りを披露していきます。皆さん応援よろしくお願ひします。もちろん一緒に踊りたい方、大歓迎です!

踊り隊では毎週練習を行っています。是非、ご参加ください。

①Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray) 毎週土曜日2時~3時

②シドニー市内では初心者の方を中心に練習しています。毎週水曜日6時半~8時

③Marrickville West Public School (Cnr Beauchamp Street & Livingstone Road) 毎週月曜日4時~5時

参加ご希望の方は、平岡正美(携帯:0423-091-261または、Email: masa7833@hotmail.com)までご連絡ください。

ウェブサイト: <http://sydneySORAN.wix.com/dancetroupe>

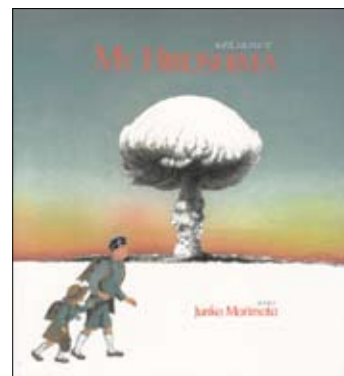


JCS日本語学校に絵本の寄贈

シドニー日本クラブの会員で、絵本作家の森本順子さんから、終戦70周年を迎える今年、子どもたちの平和教育の一端として役立ててもらいたいと、JCS日本語学校2校に、森本さんの絵本「My Hiroshima」(日英併記)の寄贈の申し出がありました。

日本語学校としてはありがたく絵本を受け取ることとなり、先月、シティ校とダングラス校に、合計40冊の「My Hiroshima」を頂いてきました。

絵本は学校に保管して、子どもたちに貸し出すことにします。ご寄贈いただいた森本順子さんにお礼申し上げます。



安全対策連絡協議会が開催

海外に在住する日本人の安全を守るための安全対策連絡協議会が、在シドニー日本国総領事館の主催で、3月13日(金)、同総領事館にて開催されました。

この会議は、在留邦人や観光などでシドニーを訪れる邦人の安全対策に関する情報共有と、関係各機関の連携強化を目的としたもので、日本からの観光客を受け入れ、安全対策危機管理に関わる旅行代理店や航空会社をはじめ、シドニー日本商工会議所、シドニー日本人会、シドニー日本クラブ、シドニー日本人学校のほか、日本政府関係機関と日系メディアが出席しました。

会議では、ニュー・サウス・ウェールズ州の治安情勢について、殺人、強盗、窃盗、性犯罪、暴行、傷害などの犯罪発生件数が減少または横ばいであるとしながら、日本と比べて人口当たりの犯罪発生件数は何倍も多く、けしてシドニーは安全な街ではないとの認識が必要。また、薬物に起因した犯罪が多く、さらに、飲酒に絡んだ暴力事件が多発し、バイキーギャングによる発砲事件も多いとの報告がありました。

特に、今回の会議では、昨年12月15日にシドニー市内で発生した人質立てこもり事件や、今年1月にシリアで拘束されていた邦人2名が殺害されたテロ事件を教訓とした安全対策についても取り上げられました。

テロなどの緊急事態に備え、今後は緊急事態発生

時の安否確認、危険情報の発信等を強化するため、SMSによる在留邦人への緊急一斉通報システムが運用を開始。また、短期渡航者のための登録システム「たびレジ」の普及・活用促進のために、スマートフォンアプリの開発や広報に力を入れていくとのこと。

テロなど、事件や事故に巻き込まれない万全な策があるわけではありませんが、日常的な心がけで被害を最小限に抑えることが大事だとの説明がありました。まず基本の予防策としては、①危ない国・場所・時間帯を避ける、②用心を怠らず、目立たないようにする、③周囲の不審者・不審物に注意を払う、④万が一に備える、の4点が挙げられました。

また、在外公館からの通知やSMSの通報システムなど、情報発信や安否の確認の際には在外公館への提出が求められている「在留届」の情報が元になっているため、在留届の提出はもちろん、内容に変更が生じた際にも速やかに連絡することが望ましく、いざという時のためにも在留届の提出が大切です。

※防犯のための注意事項や生活上の心得などが解説されている、在留邦人向け安全マニュアル「シドニー安全の手引き」が在シドニー日本国総領事館のサイトで公開されています。(以下アドレスにアクセス)

http://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/japanese/life_and_safety.htm

緊急連絡網の整備

総領事館の安全連絡協議会より、緊急時に際しての緊急連絡網の整備と体制作りが提案されています。JCSとしても会員に対して緊急時の連絡が速やかに行なわれるよう、体制を整備したいと考えています。そのため、会員の皆様の電話番号、メールアドレスを改めて確認し、緊急時に備えたいと思います。

日本語学校の保護者や親睦の会の皆さんは、それぞれの連絡網を通じて対応いたしますが、その他の会員の方には事務局から電話やメールを通じて連絡をすることになります。

会員の方でまだ電話番号やメールアドレスを通知されていない方、また変更された方など、お手数ですが、本誌に同封している会費納入書に、必ず電話番号(自宅/携帯)とメールアドレスを記入のうえ、事務局までお知らせください。よろしくお願ひします。

試してみよう マクロビオティックの健康レシピ 食べ物を変えると、体も心も変わる

池田恵子
soramame

第53回 バイクドビーンズ

イースターが過ぎると一気に秋が深まりますね♪
毎年カレンダー上での日付は違うのに、この時期を境に寒くなるのが不思議だなあ、と毎年感じるのは私だけでしょうか…。

今回は、カフェメニューでおなじみのバイクドビーンズです。豆にはタンパク質はもちろん、各種ビタミン、繊維質も豊富なので頻繁に食べたい食品のひとつです。乾燥した豆を1晩水に浸けるところから始めるので面倒に感じますが、豆は冷凍可能なので多めに煮て小分け冷凍、ちょこちょこ解凍してサラダやスープに入れると、食べやすいし、缶詰より断然おいしいので是非！

【材料】 約4人分

- A キドニー豆(乾燥) 60g(4倍の水に1晩浸ける)
ひよこ豆(乾燥) 60g(4倍の水に1晩浸ける)
B タマネギ 1/2個(みじん切り)
水 125ml
トマトペースト 大さじ2
C 豆の煮汁 大さじ3
シーソルト 小さじ1/2
D ゴマ油(extra virgin) 適量(焼き用)

【作り方】

- ①圧力鍋に2種類の豆を入れ、水を豆より2cmくらい上まで注いで、蓋をしないで強火にかける。沸騰したらアクをとって蓋をし、圧がかかったら弱火にして15分煮る。



- ②煮上がった豆をザルに上げる。豆の煮汁はとっておく。
③鍋にゴマ油をひいてBのタマネギをしんなりするまで炒め、水とトマトペーストを加える。沸騰したら弱火にして蓋をして10分煮る。
④②の豆とCを加えて煮る。沸騰したら弱火にして5分煮て火を止め、5分休ませる。

- *シーソルトには、ミネラルが豊富に含まれます
- *ゴマ油は最も酸化しにくい油といわれます。Extra virginなら匂いも強くないので、炒め物やお菓子作りなど何にでも使えます。
- *圧力鍋はブランドによって煮上がり時間が異なります。各鍋の説明書に合わせて時間を調節しましょう。

Lucky Martイチオシ商品!

NEW 好評発売中!

鶏の一夜干し(塩麹味)

繊細な塩味と、麹の「旨み」がたっぷり詰まった極上の鶏もも肉を是非堪能ください!

LUCKY DAY 毎月第2土曜日は“ラッキーデー”

ALL 20%OFF

| | |
|--|--|
| <p>毎週火曜日はお肉の日 店内お肉類全品</p> <p>10%OFF</p> | <p>毎週木曜日はお魚の日 店内お刺身、魚商品全品</p> <p>10%OFF</p> |
|--|--|

ラッキーマート アーターモン駅のすぐ近く

2 Wilkes Ave, Artarmon Tel: 02-9413-2200
営業時間: 9:00AM~9:00PM (年中無休)

マクロビオティックって?

マドンナやハリウッドスターたちが実践している食事法ということで有名になったマクロビオティック。実はこれ、大正時代に日本で発祥した「食養生」「正食法」のことです。穀物を中心とした菜食をする、食物を丸ごと食べる、住んでる土地で採れたものを食べる、動物性の食を避ける、白い砂糖を避ける、そうしているうちに自然と心も体も健康になる。そんなシンプルで簡単な方法です。気軽にできるマクロビオティックのヒントがいっぱい。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

→ www.soramame.com.au

あの頃のシドニー



「あの頃のシドニー」と題して、シドニーに暮らしはじめた頃を振り返るコラムです。昔のシドニーを思い出し、海外生活の苦勞話や楽しかったこと、驚いたことなど、読者のみなさんと共有したいと思います。第2回は1972年に18歳で来豪された林弁護士です。

第2回 1972年日本にはまだ忍者がいるのか？

1972年の8月、私は18歳、初めてシドニーにJAL771便で降り立ちました。その頃、東京成田国際空港はまだ開港しておらず、羽田から香港、台北、マニラ、シンガポール経由でシドニーにやってきました。初めて乗った国際線の中で偶然にも高校の親友の元カノがCAをしていたのには、びっくりしました。何故か彼女にはよそよそしくされました。多分その時まで彼女は親友の影を引きずっていたんだと思います。その後何度かこのルートでシドニー／東京を往復しましたが、彼女に会ったのはそれ一回きりでした。その頃の飛行機はいつもがらで、エコノミーシートを4席使って寝ることができました。各経由地から飛び立つ毎に食事が出たような気がします。また、赤道を越えると記念の「赤道通過証明書」なるものが配られ、それを大事に取っておいたものです。

8月の蒸し暑い日本とは違って変わって、初めて降り立ったシドニーの朝の清しさは今でも忘れられません。その頃、1ドル400円でした。ミルクバーで飲むミルクシェイクは18セント、ミートパイが50セント、ホットチップスが20セント、カフェのTボーンステーキが1ドル50セントという時代でした。喫茶店に行っても、フラットホワイトやカプチーノなど無く、コーヒーはもっぱらインスタントか、作り置きのものでした。食事のスタンダードは今とは比べものにならないくらい悪く、一流ホテルのレストランでももっぱら「食べられる物」を出してほしいと願うばかりでした。レストランで食べる食事は全体に塩っ気が強く、付け野菜は茹で過ぎて、ステーキはわらじのよう一律ウェルダンでした。しかし、その頃、唯一日本人の味覚を楽しませてくれたのは生で食べるシドニーロックオイスターではなかったでしょうか。日本から私に会いに来たグルメの叔父も、シドニーロックオイスターにだけはうなっていました。

シドニー到着後すぐに私はBowral(シドニーの南西約115km)にある高校に大学受験のため入学しました。その高校の寄宿舎の朝飯には驚きました。日本の感覚では高校の寄宿舎の朝ごはんは原則的に一切期待できないものですが、なんと朝からベーコン、目玉焼き(あるいはスクランブルエッグ)が食べ放題！各テ

ーブルには、上の部分にクリームが浮いている瓶入りの牛乳が数本置いてあり、これも飲み放題！但し、野菜は全く出ませんでした。バター代わりにステンレスのボールに入った黄色く着色されたラードのようなあやし気な塊がテーブルに置いてあり、皆それを惜しげなく、大量にパンに塗って食べていました。しかも再度強調しますが、野菜はゼロ。その頃は、「体に良い」「ダイエット」という概念は全く存在していなかったようです。無論ベジマイトもそのとき初めて食べました。朝から食後喉が渇くような毎日でした。

私はアジアからの編入生にも関わらず、新しい高校ではいじめられることも無く受け入れられました。私が空手の有段者であり危険度において、一目置かれていたことも温かく迎えられた理由の一つだと思っています。この高校が田舎にあったためかは分かりませんが、その学生達の日本に対する認識度は非常に低く大変幼稚でした。いつも話題となったのは、こちらで流行った日本の「隠密剣士」という十字型や八方型手裏剣が飛び交う忍者ものの時代劇です。主人公の「Shintaro」(秋草新太郎)や「Tonbei the mist」(霧の遁兵衛)はすごいというような話で、いつも盛り上がっていました。私が来た1972年の少し前に、プロモーションで秋草新太郎役の大瀬康一がシドニーにやって来たそうです。隠密剣士にはまっている学生が、「何でShintaroは普通の服を着て飛行機のタラップを降りてきたんだ！」と嘆いていました。その頃よく受けた質問が、「日本にはまだ忍者がいっぱいいるのか」でした。私は「日本はたぶん忍者だらけだと思う」と意味深に答えておきました。

その年の暮れ、私が日本に一時帰国する際、あるお世話になった同級生のお母さんが誇らしげに、「このOven Bag(オープン用の半透明の高熱に耐える調理用袋)をお母さんに持って行って」と私にくれました。おそらく日本にはそんな進んだものは無いと思ったのでしょうか。因みに、Oven Bagを渡された私の母は「日本にはもっといいものがある」と言っていました。

NSW大学の法学部にも受かり、順風満帆な人生を歩み始めるのかと思いきや…。「あの頃のシドニー」まだまだ書くことがありそうです。





オーストラリアで 家を建てよう

第18回

ひなっち

みなさん、こんにちは(ORこんばんわ)。いかがお過ごしですか？ 数ある記事の中からわざわざこのページを開いていただき、誠にありがとうございます。今回で通算18回目の登場です。

前は、建築現場も佳境に入ってレンガ積み上げ工程を完了したものの、Builderから「ここから先の進捗は天候次第」みたいなことを言われてイライラは募るばかり… という内容だったっけかな？ 時にして、2010年9月頃の状態描写でした(ちなみに着工は同年5月13日)。今回はその続きです。

ある日の夕方5時近くに現場視察に行くと、壁の下塗りをする作業者がまだ働いていた。頑張るねえ。家の全体像を知らない下請け作業からストレートに「この家っていくらしたの？」って聞かれた。「安くないよ～、35年ローンだよ～」とボヤかして返事すると、「あなた今何歳？」「そうか。じゃ、ローン払い終えた時には老人だね。」放っといてくれ！

さて、この頃になると、構造部分はほぼ仕上がり、外装・内装に取り組む段階に入る。つまりここからは、Colour Selectionにおいて好みに合わせて選んだタイル・ドアノブ・キッチン設備などなどのアイテム群が本格的にInstallされていくので、それらが注文どおりで間違っていないか注意深くWatchする必要がある。現場を仕切るBuilder側のSite Managerもこの点は認識しているようで、これからは2週間ごとに現場での打ち合わせをしようという方向になった。大賛成！

そしてその第1回目会合に出向くと、すでに到着していたSite Managerに「普段は立ち入り禁止だけど、今日は特別！ さあ、入って！」と促されて敷地内へ。いつも不法侵入して内部チェックしてるから、さして驚きはないんだけどね。断熱材・エアコンの配管・電気系の配線、いい感じに進んでるねー、と初めて知ったようなフリして現場を後にしてから2週間後に再訪すると、階段(それまではハシゴを使用して2階に昇っていた)・Bi-Folding Door・キッチンキャビネットなどが出来上がってた。早い早～い！



この折りたたみ式ドアをどうしても導入しなかったのだ！

しかし悲しいかな、不安は現実のものとなった。キッチンキャビネットの色使いが間違ってた。Islandは全部白系、壁側はDark系でお願いしたはずなのに、何故かIslandのトップにDark系が使われてる。お待ちかねのKitchenが据え付けられたにもかかわらず、この件で嫁さんはご機嫌ナナメ。



アイランドに黒の縁取りなんぞ要らん！

この件は後日正式にSite Managerを通してクレームするとして、天井と壁の接合部分のシールも完了。コレ、ArchitraveとかCorniceと呼ばれるもので、こういう部分にはまったくコダワリはないから「テキトーに処理して」とお願いするとStandardタイプで処理されてた。俺らと同じ時期に家を新築した知り合いの奥さまからは、「旦那(Ozの方です)がCorniceとSkirtingの形状にこだわって、結局グレードアップしたんですけど、けっこうな値段なんですよ、アレ」と聞いて、へえ～！って思ったことがある。確かにいろんなデザインが取り揃えられてるもんな。

ところでこのSite Managerクン、見た目とても若い！ そして特筆すべきは、長身なのに頭部が小さいこと。180cm超の俺が見上げるくらいだから、190cmはある。なのに頭のサイズは俺以下。見た感じ、12等身。キャプテン翼の生き写しかっ！

メラリと光る

あの人・この人

【第54回】

ディアンシン ゆりやさん

ウエディング・プランナー、イベントコーディネーター

1989年のアメリカ映画「フィールドオブドリームス」をご存知だろうか？アイオワ州の貧乏農夫がとうもろこし畑から聞こえる“ If you build it, he will come”という謎の声に動かされて畑の真ん中に野球場を作ると、そこで夢のような出来事が起き始めるというファンタジー映画。今日ご紹介するゆりやさんを見て、ふとこの映画を思い出した。

「自分が感動したことや元気をもらえた内容は、これみんなも知ってた方がいいよ！と思ってしまうのです。人が集まるかなとか、採算が合うとかは二の次で、とにかく心が動いた瞬間に手足も動いてしまうんです。まさに、“ If you organise it, they will come”的哲学！ゆりやさんは一見無謀とも思えるこのやり方で次々とイベントを開催し、たくさんの人々と夢や感動を分かち合ってきた。イベントのスケールの大きさにもかかわらず、常に落ち着いた人というのが彼女の第一印象。

シドニーとの出会いは、青山学院大学に在籍中の1982年に1年間、交換留学生として英語を学ぶために留学したのがきっかけ。その後、何度かシドニーと日本を行ったり来たりしたのち、1997年に日本郵船の「飛鳥」に客船乗務員として勤務中、現在の夫であるフィリピン人のレイさんと出会う。素朴で優しさ溢れるレイさんは、一目で「信頼できる、深い思いやりのある人」だとわかったという。

同年に結婚後、拠点をシドニーと決めた時には全日空シドニー支店勤務、日本語教師、英語教師を経て、2006年よりウエディング・プランナーとして仕事を始める傍ら、ボランティアで数々のイベントを企画してきた。そのダイナミックな仕事ぶりからはあまり生活感がないゆりやさんだが、16歳のカイナちゃんと11歳のアニカちゃんの4人家族。現在、フィドルタウンというホーンズビーから北西に車で30分のカントリータウンで、犬4匹、鶏9羽、ギニーピッグ7匹の他、野生の鹿やカンガルー、トカゲ、ヘビなどに囲まれながら、自然とともに生活している。

「私の母は英語教師でとても厳しい人でした。弁が立ち、それは男勝りの人でした。現在80歳も目の前ですが、今でもそれは変わりません。過去10年ほどの間に3つの大病を克服して、2年前には一人でアメリカを



旅行をしました」。なるほど、ゆりやさんのダイナミックさは多分、母親譲りにちがいない。

「ここ9年の間に、毎年数回の割合で、私自身が感動したドキュメンタリー映画や、人物を日本から招待して80人～300人程のイベントを企画してきました。今月15日にも日本から中村文昭さんをお呼びして講演会を開催しますので、みなさんにぜひいらしていただきたいです」。

「私の人生での使命はこれだ！という確固たる確信はありませんが、それはそれでいいと思っています。私にとって大切なのは、目に見えない大きな力に生かされていることに感謝しながら、いま自分の目の前にあることを、心を込めてひとつひとつ丁寧ですることです」「私自身、仕事やボランティア活動で、母親としては足りない部分も多々あり、家族に迷惑をかけていると申し訳ない気持ちになることもありますが、いやな顔をせずやりたいことをやらせてくれる主人や子供たちに感謝しています」。

そんなゆりやさんが、幸せを感じる時…それは、ふとした何気ない日々の瞬間。

「夫や娘たちを送り出し、日中、ひとりで青い空を見上げて、風の音を聴いて自然に囲まれている時…そんな時、満たされているな、幸せだなとしみじみ感じます」。かけがえのない家族、そしてたくさんの動物たちや雄大な自然の温かさと愛に囲まれ、木々が揺れ動く風の合間にゆりやさんの耳に聴こえるのは“ If you organise it, they will come!”という心の奥底からの導きの声なのかもしれない。 (みさこ)



中村文昭講演会 「お金でなく、人のご縁ででっかく生きる！」

日時: 4月15日(水) 18:00

場所:

St Augustines Anglican Church,
75 Shellcove Road, Neutral Bay

参加費: 一般\$39、シニア\$25、

学生・WH\$15(前売り\$10)

詳細は、

<http://nakamurafumiakiinsydney.jimdo.com>

シドニー ウエストサイド ストーリー



新連載

第1回

ストラスフィールド以西はウエスティ

●大倉弥生

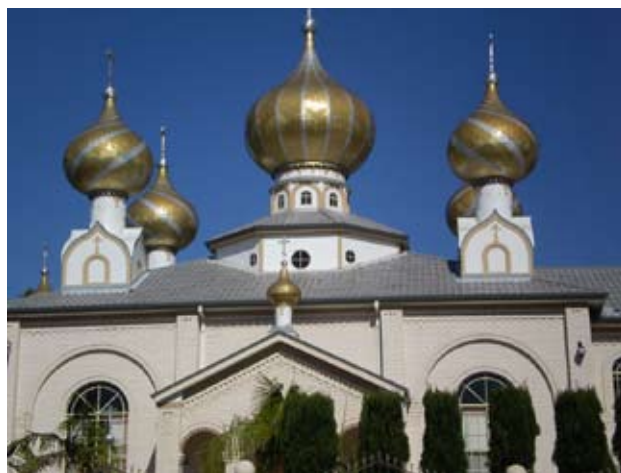
最近のテレビのニュースは三面記事的な事件、事故ばかり取り上げているように思うのは気のせいだろうか。センスのよいスーツを着て澁刺としたケネリーが女性として初のニュー・サウス・ウェールズ州首相を務めていた時には、州政のニュースも毎日のようにあったような印象があるが、冴えない中年のオフィシャルに代わってからだんだん頻度が減り、最近では州首相の名前さえ思い浮かばないほどメディアの扱いが減ったと思う。

今日も、やれウエスタン・シドニーで発砲事件があった、やれシドニー・ウエストで死体が見つかった、やれウエスタン・サバークの家宅捜査で麻薬と現金が押収されたとニュースが続く。まるでシドニー西部は犯罪の宝庫のようだ。確かに、「ああ、またヘリコプターが飛んでる。何かあったかな」と思うと、夜のニュースで“何かあった”ことがわかった経験は少なからずある。でも考えてみてほしい。シドニーは東海岸にあるのだから、シドニー東部と言ったらボンダイを越せばそこは海。もちろん北部も南部もあるが、近年の急激な宅地開発も手伝ってシドニー住民の大半は西部地区に住んでいるのが現状のはず。人口が急増すればいろいろ起きる。それなのにサバーク名を言わずに、シドニー西部を十把ひとからげにした報道の仕方が気になるのは、私が「ウエスティ Westie」だからだろうか。

この言葉を初めて聞いたのは、19年前にオーストラリアに移住してシドニー西部に居を構えて間もないころ。ノース地域に子どものころから住んでいる友人は西のほうには一度くらいしか行ったことがないと言い、ストラスフィールド Strathfield から西に住んでいる人のことを「ウエスティ」と呼ぶのだと教えてくれた。その言葉に込められた意味合いは十分に想像できた。土地に値段があり家に値段がある限り、どこに住んでいるかでその人の社会的経済的ステータスが判断されるのは、どこも同じなのだ。

私は東京で育ったが、昔の東京には江戸のころからの言葉で「川向こう」という言い方があった。みやこの中心から見て東手にある隅田川の向こう側、つまり川の東側の地域をやや蔑んでこう呼んだようだ。シドニー北部に住む人から見ると、私はさしずめパラマタ川の「川向こう」に住んでいる感じになるのかなと思ったりする。

ところで、3月28日にNSW州の選挙があったが、州



Lidcombe(市内から西へ14km)にあるロシア正教会

選挙で思い出すのは、確か1999年の選挙の時のこと。自由党が選挙運動用に作った内部資料の内容が暴露されてニュースになったことがあった。シドニー西部で選挙運動をするときはビジネススーツではなくスウェットスーツなどカジュアルな格好をするようにというアドバイスが書かれていて、これを労働党が問題視したのだ。つまり「ウエスティ」を小馬鹿にしていると。そう言われてみると、確かにこの辺りでスーツを着て歩いている人は不動産屋くらいかなと気が付いたものだが、実際にスーツを着ている人は少ないんだからそんなことを突っついてどうするのだ。要は政党間の揚げ足取りであって、当のウエスティは候補者が何を着ていようと構わなかったはず。むしろ、選挙民に近づこうという点で適切なアドバイスだったのじゃないかと思うほどだが、結果としてどちらの政党が勝ったのかは忘れてしまった。

それにしても、シドニーが今よりずっと小さな都市だったころは、市内から電車でたった15分のストラスフィールドでさえいわば「辺境」の入口だったのかもしれないが、これだけ人口が西へ膨張した今、このボーダーラインの意味は消えかけているのではないだろうか。日本人の定住地域としても、やはり家の値段の関係でシドニー西部に住む人が増えていると聞く。日本人駐在員が固まって住む時代は終わり、「シドニーの日本人＝ノース地区」という図式は変わりつつあるようだ。

このコラムでは、シドニー西部に暮らして折々感じたことを綴っていきたいと思う。

世界モダン建築巡礼 62

Jun Sakaguchi (Architect)

Publicis Drugstore

by Michele Saeed

シャンゼリゼ通りの一等地に位置するこの土地はPublicis Drugstoreというアメリカのブランドが1958年から立地していた。Publicisは世界でも最大規模のコミュニケーショングループで広告宣伝などを専門とするMarcel Bleustein-Blanchetを創業者とする大きな会社。

このPublicisの本社ビルのGround FloorにこのDrugstoreをオープンすることは大きな成功となり、パリの若者の待ち合わせ場所として知られるようになった。しかしその建物は閉鎖的で周辺環境を拒絶するようなデザインだったという。

2004年にこの建物の全面改修が行われ、Michele Saeedは全体を3次元的な複雑な形態を持ったガラスとスチールで覆い、既存の堅く重い建物の外観を軽快で優雅なものに変容させた。

その優雅なファサードは新しい布を覆ったような美しい表情を持ち、夜になるとさらに優れた照明効果で建物全体が一つのアートワークのように変化する。

内部の構成も全体的に改修され、グラウンドフロアのスロープや螺旋状の空間がニュースエージェントや薬局、本屋、デリなどを緩やかにつなげ、それまで



の画一的な空間構成をユニークで豊かなものに改善している。

パリは中世からの石造りの美しい建物が立ち並び、Ottomanによる整然とした都市計画がその街並みを何百年の間維持している。しかし、そのあまりにも整然とした街並みは時に少し息苦しい気持ちをもたらすことがあるように思う。

そんな中でこのPublicis Drugstoreのような建物は現代的な手法によってその街並みに新たな息吹を与え、同じような表情の景観に句読点をもたらし、現代建築の優れた例になっていると思う。

猥雑な東京の景観にシンプルな建築が映えるように、逆にこの整然とした街並みに映えるこの建築は素晴らしい。



スポーツ天国 SPORTS 第84回

2015年度NSW州卓球ベテランリーグ戦開幕

NSW州卓球団体リーグ戦が3月8日から始まりました。今年も日本人主体のチームが参加します。

昨年のエースだったヨシさんが高い勝率のため上部リーグに移籍させられましたが、駐在のHさんが新たに加入。4月26日はHurstville Aquatic & Leisure

Centre、5月3日はSydney Olympic Park Sports Hallsでの試合です。

昨年はSBSラジオ日本語放送のインタビューを受けましたが、今年はさらに多くの日本人から認知されるようにがんばっていきたいと思います。応援よろしくお願ひ致します。

※会員の皆さんからの情報も受け付けていますので、いろいろ教えてください。よろしくお願ひします。

Eメールは、kenerit@gmail.comです。(ぴか)



特別展: The photograph and Australia

今回は、NSW州立美術館の今年の日玉展覧会の一つ、3月21日から6月8日まで開催される特別展: The photograph and Australiaをご紹介します。この展覧会は、写真技術の発展とほぼ時を同じくして国家として成長、発展してきた国、オーストラリアにおいて、デジタル革命の今日まで、写真が国家という概念を構築する上でどのような役割を果たしたかを探り、写真の出現によって、人々の世界観、考え方がどう影響されたかを明らかにしようとする試みです。

オーストラリア、イギリス、ニュージーランドの35の私的、公的コレクションの中から、120人以上の有名・無名の写真家によって撮られた400点を超える写真が、入植者と原住民の関係、探検、肖像写真、伝達(発信)という4つのテーマによるアプローチで、9つの部屋に分かれて展示されています。

古い写真を守るために照明を落としたりした3番目の部屋のショーケースに入った、手のひらに乗るほどのコンパクトのようなフレームに入った、見逃してしまうほど小さな写真、オーストラリアにやってきた最初のプロの写真家によって、1845年に撮影された親子の銀板写真です。ブレない写真を撮るために、当時は、30秒かそれ以上、じっとしていないといけなかった困難さが彼らの表情に見えます。こちらに目を向け、あごを引き、硬い表情ながら笑おうと片方の口元を上げている母親。彼女に動かないように掴まれている息子は、待ちくたびれたのか不機嫌に口をへの字に曲げて写っています。



オーストラリアにおける植民地支配の過程と繋がる、1870~80年代の写真には、オーストラリアの自然とともに生き、時には立ち向かい、植民地の開拓に臨む、草創期の入植ヨーロッパ人とオーストラリアのブ

ッシュと呼ばれる自然が写し出されています。人々と自然の間には、ある種の精神的な関係が形成されていきました。

写真が世に出た当初の1840年代、日本では、明治維新もまだ30年程も先の江戸時代でした。展示されている、その頃の銀板写真、個人所蔵の家族アルバムや郵便はがき、日常の品々、オーストラリアの初期のレントゲン写真など、これらの写真が、オーストラリアの歴史の中であって、そこで生きた一人ひとりの人生のひとコマ、彼らがどこでどう生きたか、彼らが何をしたのかを物語ります。

また、開拓期から今日まで、オーストラリア社会が経てきた政治的、社会的問題をテーマにした貴重で重要な写真も数多く見られます。David Mooreによる、1966年にシドニーに船舶で到着した移民たちが、船のデッキのレールに身を乗り出している姿を捉えた白黒写真。そこには、当時の労働力不足の解消に向けた移民政策によってやって来た移民者たちが期待と不安の表情を浮かべて写っています。



1975年、当時の首相、Gough Whitlamが一握りの土をその先祖からの土地の本来の所有者である老アボリジナル・オーストラリアン、Vincent Lingiariの手のひらに落として、土地の権利を土着の人々に返還するという歴史的な瞬間をオーストラリアの抜けるような青空と赤い土のコントラストを背景に写したカラー写真。オーストラリアで最初のアボリジナル写真ジャーナリスト、Mervyn Bishopによるものです。



この機会に、これらの写真の背後にある事実、オーストラリアの自然、社会、政治、人々の生活を垣間見ながら、この国の成り立ち、来し方を改めて見つめてみるのは、いかがでしょうか？

(NSW州立美術館コミュニティーアンバサダー: 鴨粕弘美)
特別展: The Photograph and Australia 日本語ツアー
5月、6月の展覧会期間中、毎週水曜、午前11時~12時
無料(展覧会入場券別途要)



CINEMA

Samba(邦題未定)

監督: Olivier Nakache, Eric Toledano
 出演: Omar Sy, Charlotte Gainsbourg
 制作: フランス, 2014年、
 115分、ドラマ作品
 トロント映画祭2014年度出展
 おすすめ度: ★★★★★☆



2011年に「最強のふたり」という作品が東京国際映画祭で最高賞である東京サクラグランプリを受賞したのをご存知の方々も多いと思うが、監督と主演男優の再タッグで制作されたのが、「サンバ」。心を病んだ元キャリアウーマン(シャルロット・ゲンズブール)と国外退去を命じられた移民の青年サンバ(オマール・シー)が、互いのかげ離れた状況からも、スムーズに時には不器用に友情を深めてゆく傑作。フランスの「移民問題」と「燃え尽き症候群」の共通点を探りながら、ユーモアと切なさがふんだんに織り交ぜられたフィール・グッド・ムービー!



BOOKS

四日間の奇蹟(きせき)

著者: 浅倉卓弥
 発行: 2003年 宝島社
 おすすめ度: ★★★★★☆



第1回「このミステリーがすごい!大賞」金賞受賞作として「描写力抜群」と絶賛されたベストセラー。脳に障害を負いながらピアノの才能が突出している少女、千織と、将来を囑望されながらピアニストの道を閉ざされた青年、敬輔。二人が山奥の診療所で遭遇する不思議な出来事を描く、癒しと再生のファンタジー。時々盛り込まれているピアノの演奏シーンは、行間からピアノの旋律が聴こえてきそうなくらいリアルで、吸い込まれる。物語の核になる仕掛けがある人気作家の選考作品と酷似しているという弱点を持っているが、物語自体は、作者の完全なオリジナルに仕上がっており、あまり気にならない。映画化されたのも納得の作品。



MUSIC

SHINE ON

アーティスト: Sarah Mclachlan
 発売: 2014年5月
 おすすめ度: ★★★★★☆



その音域の広く美しいヴォーカルで1997年に発表したSurfacingではグラミー賞で2つの受賞を得たSarah Mclachlan。独特の声と深みのある歌は1988年のデビューから着実にファンを増やしてきた。4年ぶりの今回のアルバムは彼女の父の死を経て人生に対する認識を改めて持ちながら作りだしたものだという。そこには今までと異なるプロデューサーの起用やソングライターとのコラボレーション、作詞の方向性など多くの変化がみられる。Surrender and CertaintyやSong For My Fatherは父の死からInspireされている曲。しかしDeluxe Editionに含まれたWhat's it gonna takeとLittle Bはさらにエモーション的に父について歌った歌詞で、涙を誘う。このアルバムはビルボードで初登場4位を記録している。



DVD

のだめカンタービレ

(第一期、巴里編、最終楽章)

原作: 二宮和子
 アニメ版監督: カサキケンイチ、今千秋(映画・巴里編、フィナーレ)
 実写版出演: 玉木宏、上野樹里、竹中直人
 おすすめ度: ★★★★★☆

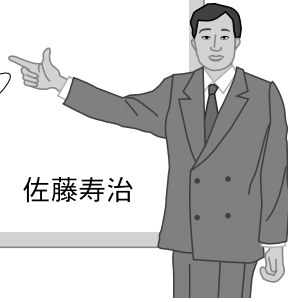


女性誌の連載漫画が原作。音大生のだめ(野田恵)は世界的な指揮者を目指す先輩の千秋真一に憧れ、音楽の世界で必死についていこうと奮闘する。二人を中心に、ユニークな演奏家たちによる人間模様を描いた作品。音楽大学やクラシックの現場を丁寧に取材して描かれているため、実際の音楽家にもファンが多く、2006年テレビドラマ化、翌年アニメ化、2009年に映画化された。のだめの破天荒な性格や型破りだが才能あふれる演奏が魅力的で、クラシックを身近なものに感じさせる。ドラマ放映中からクラシックのCDが異例の売り上げを記録し、ピアノを習い始める子どもが急増するなど、世の中に「のだめ現象」を巻き起こした。巴里編のオーケストラのシーンなど、圧倒されるほどの豪華さ、ボリュームで、映画館の大スクリーンで見てみたかった!

●このコーナーに皆さんからの投稿をお寄せください。映画・音楽・本・DVDなど、感動した作品や、是非、皆さんに紹介したい作品...など、読者の皆様からの投稿をお待ちしています。(メールあて先: hbma@optusnet.com.au)

科学の小箱 ちよつと サイエンス

佐藤寿治



【第148回】ボノボに学ぶ闘争回避術

Islamic State (IS)と名乗る超過激集団による、日本人ジャーナリストの誘拐及び殺害、チュニジアにおける日本人を含めた外国人観光客への発砲等、無差別テロリズムが国際的な問題となっています。ISと同様の反社会的暴力集団としては、身近なところで自作の猛毒サリンを化学兵器として使用し、6,000人を超える死傷者を出し日本中を震撼させたオウム真理教の名前が思い出されます。更にこれまで繰り返されてきた歴史上の様々な規模の戦争を見ても、それなりの大義ないし名分があるにしても本質はテロリズムと相似です。何故こうまでして人類は悲惨な犠牲及び多大な損害を招来する闘争に駆り立てられるのか？ 要因として浮かび上がってくるのが生体として不可欠な機能である事実。闘争心無くして生を全うできないと断言してもよく、穏やかな生涯を志向する人には受け入れ難い試練でしょう。

動物分類上において人類に付与された学名は輝かしく、ラテン語に由来する知恵有る或は賢い人を意味するホモ・サピエンス。同じ生物学的種目に分類されている類人猿のゴリラ、チンパンジー、ボノボそしてオランウータン等に比較し、格段に発達した脳を持つ特質から、広い視野と思考を有する万物の霊長と見做されているのが人類です。しかし、前述の如くドメスティックバイオレンス (DV) から、全生態系を破滅させ得る核戦争をも引き起こしかねない、個人としても種

全体としても比類無い暴虐性を忍ばせています。しかも、高い知能に裏打ちされたテロリズムの状況は、終息に向かうどころか今後一層拡大する危険を孕んでいます。世界規模の戦争が勃発する危険に対しては、幸いにも間もなく終戦70周年を迎える第二次世界大戦の負の記憶が強い抑止力となっているようですが、将来的には決して楽観できる状況にはありません。

動物の過激な闘争の第一義は、生存の根幹に係わる生活圏の確保を目指す必須の行動であり、動物界に属する人類も例外ではありません。縄張り争いに勝利なくしては、暮らしに十分な食物の供給も覚束無く、子孫を残す良き相手を確保する機会もほぼ絶望的となります。絶対に負けられない闘争に向けては、生体内で「闘争ホルモン」(FH)と渾名される一群のホルモンが大量に分泌され、迅速に心身の臨戦態勢を整えることが明らかになっています。逆の見方をすれば、FHこそが闘争を仕切る真の黒幕だと言えます。人の場合FHの筆頭はテストステロンで、精巣で作られて男らしさを現出させる男性ホルモンの代表でもありますから、過激な行動者が女性に比べ男性が圧倒的に多いのも頷けます。そうすると、闘争性回避の大役を担うのは女性ということに。

人類と遺伝子の違いが僅か2%以下というボノボの雌は、群の中や外部で闘争の緊張が高まると身を挺して割って入ります。彼女達は、異性或は同性を問わず、性器を擦り合わせることも含め感情を込めたスキンシップを行います。この時宥められる側の脳内部で、βエンドルフィン(βE)という化学物質が作られ、多幸福感に満たされることで闘争心が中和されると考えられています。人間もβEに対し同様な反応を起こすことから、多幸福感による緊張融解方式が有効であることは間違いありません。βEは、麻酔薬や鎮痛剤として使用されるモルヒネに似た物質で、ボノボが暴力回避に人類より遙か以前から利用を始めたのは大したものです。

JTI DISCOUNT 日本食販売

JCS会員様
特別ご優待

お買物合計金額より15%割引!!
必ずお会計の前にJCS会員の証をお知らせ下さい。

お弁当販売始めました!!

毎日、日替わりで販売いたしております。
内容はからあげ、てりやきチキンやハンバーグなど..
ランチに是非いかがでしょうか?
数量限定ですでお早目に!!

\$8.80/pc



また、青紫蘇の葉(\$2.50/10pcs)も期間限定で販売いたしております。

J-Top Trade Australia Pty. Ltd. Unit 3, 26-32 Kent Rd, Mascot NSW 2020
Ph: 02-9317-2500 / Fax: 02-9669-1988 / Email: order@jti.com.au
営業時間: 月-土 10AM-5PM / オンラインショッピング: www.jti.com.au
*駐車スペースあり*配達サービスあり(詳しくはWEBサイトをご覧ください)

Travel Centre International

格安航空券お取り扱い中!

弊社では発券手数料等はいただいておりません。
他社料金と比べてみてください。
ご帰国予定が決まったら、一度ご連絡下さい。

JR パス取扱中

各種ツアー

日本からご友人が来られる際は...
人数が6人以上集まれば、ブルーマウンテンや土ボタルツアー
を貸切で催行いたします! 詳しくはお問い合わせ下さい。

Suite 602 Level 6
309 Pitt Street
Sydney NSW 2000

☎02-9267-7751

Email: tci.travel@bigpond.com



暮らしの医療

閉経前後の卵巣と卵管

ドクター・鳥居／Northbridge Family Clinic

閉経に近い年齢で、もし子宮摘出術が必要となった場合(子宮筋腫、子宮内膜症、月経過多などの理由で)、卵巣/卵管を同時に摘出することがよくあります。卵巣は女性ホルモンを生産する役目があります。卵巣は閉経間近になるとその機能は低下しています。

ですから、摘出しても問題はないと思われがちです。卵巣を摘出する主な理由は卵巣癌の予防のためです。閉経間近で子宮を摘出するとき、卵巣/卵管も摘出するかについての決断はリスクとベネフィットをよく考慮してからするべきです。

ちなみに、子宮摘出のときに卵巣/卵管も摘出することは技術的には困難なことではありません。

卵巣癌について

オーストラリアの女性人口のなかで卵巣癌は9番目によくおこる癌で、癌による死因のなかでは5番目に位置します。女性の一生を通してこの癌がおこる確率は1.4%です。時期的には閉経期か閉経後によくおこる癌で、初めて診断される平均年齢は63才です。

5~10%は家族歴があり、もし第一次血縁者に卵巣癌にかかった人がいれば癌が発生する確率は4~5%です。

BRCA1遺伝子とBRCA2遺伝子(どちらも乳癌と子宮癌を抑制する遺伝子)に異常がある人は卵巣癌のリスクが高まりますが、これにあてはまる人は少数です。

この病気の大きな問題点は初期においてはほとんど無症状であることです。また、乳ガン、大腸癌、子宮頸癌などのように効果的なスクリーニング検査がまだ見つかっていないということで初期段階で診断することが困難です。

閉経後の卵巣について

閉経間近になると女性ホルモンの分泌が減っていき、しだいに小さくなりますが、エストラジオール(Estradiol:哺乳類に普通みられる卵胞ホルモンのうち最も有効なもの。卵巣、胎盤、精巣、恐らく副腎皮質でも生成される)と男性ホルモンは少量ですが生成され続けます。

この卵巣から分泌される男性ホルモンには健康を維持するための効果があるようです。その他にもまだ効果がよく知られていないホルモンや代謝産物があるかもしれません。ですから、主な機能である女性ホルモンの生成が無くなったからといって単純に摘

出してしまってもいいということでもないようです。

実際に、家族歴があったり、BRCA1やBRCA2遺伝子の異常がある人でなければ、卵巣を摘出することによる健康面での利点はなさそうです。また、子宮摘出をすること自体に卵巣癌が発生するリスクを36%低めるというデータがあります。これはなぜなのかはわかっていません。

卵巣摘出時の年齢

次のようなデータがあります。

- * 卵巣摘出をした場合、全体的に死亡率は上がりませんが、摘出した年齢が1歳下がるにつき死亡率は4%ずつ向上します。
- * もし40~65才の女性が卵巣摘出をしなかった場合、生存率は向上します。
- * もし45歳未満で卵巣摘出をした場合、死亡率は67%上がります。
- * 50歳未満で卵巣摘出をしてホルモン療法をしなかった場合、死亡率は40%上がります。

卵巣摘出で考慮すべき点(子宮摘出時に)

- * 年齢: ホルモン補充療法で女性ホルモンを補わなければ卵巣を摘出した年齢が若ければ若いほど健康面への影響は悪く、全体の死亡率が上がります。
- * 卵巣癌の家族歴: 強い家族歴があれば決断は卵巣摘出のほうに傾きます。
- * 遺伝子異常: BRCA1/2の遺伝子異常があることがわかっていたら卵巣摘出が勧められます。
- * 循環器疾患: 女性ホルモンは心筋梗塞や脳卒中などを防ぐ効果があるようなのでこのような病気の強い家族歴があれば卵巣は残しておくべきです。(特に年齢が若ければ)
- * 骨粗鬆症: 骨密度の減少は女性ホルモンのレベルが下がるとともに進みます。骨粗鬆症の強い家族歴がある場合は卵巣はなるべく残したほうが良いようです。
- * 痴呆症: 卵巣摘出をした人は痴呆症がおこる確立が70%増えるようです。卵巣摘出が早いほどこのリスクは高まります。ホルモン療法でサポートすればリスクは低下します。



仏教語からできた 日本語 その114

渡部重信
hbma@optusnet.com.au
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長



達磨(だるま)

だるま、と聞きますと、縁日などで売っている縁起物のダルマを思い浮かべる方が多いことと思います。あのダルマは倒してもすぐに起きるように作られていますので、決して倒れたままでないことから、「七転び八起き」という言葉もでき、ダルマを置いておけば仕事に挫折することがないとされ、商売繁盛、開運出世の縁起物として人々の高い人気を集めています。福島県の会津地方に古くから伝わる「起き上がり小法師」という郷土玩具もあります。小さなダルマ人形の底に重しをつけたものです。



起き上がり小法師

それにしても、ダルマは我が国において、絶大な人気を保ち続けて来ました。私たちはダルマに形状や性質の似ているものにこの親しみを込めてダルマと名づけています。日本では朝の連続テレビ小説の影響で今、ウィスキーに人気が出ていますが、ある会社のウィスキーは、その形状が似ていることから、いつしか「ダルマ」という愛称で呼ばれるようになったのは周知の通りです。また、木のダルマの積み木を木槌で叩いて落とす、「ダルマ落とし」。鬼になった子どもが「だるまさんが転んだ」と言って、他の子供達と遊ぶゲーム。また、「にらめっこ」では、「だるまさん、だるまさん、にらめっこしましょ、笑うと負けよ、あっぷっぷ」というわらべ唄を歌い変な顔をして相手を笑わそうとして、周囲が大笑いする遊びにもダルマさんが登場します。また、真剣なところでは、受験や、選挙に勝つことを目的に目玉を入れるダルマの置物等も有名です。

さて色々な生活の場で見かけられるダルマですが、これは中国禅宗の開祖といわれる菩提達磨(ボーディダルマ Bodhi Dharma 378-528 古い写本では達摩とも表記します)の坐像をモデルにしたものです。菩提達磨は南インドの禅僧で、6世紀のはじめに海路中国に渡り、各地で禅を教えたと言われていました。ただ、菩提達磨に関する伝説は多々ありますが、実際、その生涯は謎に包まれている、というのが実情のようです。

そうした伝説の中で最も有名な話を紹介しますと、彼が洛陽当方の嵩山の少林寺で、壁に向かって九年間座禅を組んでいた(面壁九年)時に、手足が腐って手足がなくなったと言われていました。しかし、この話も、彼の壁観を誤解してできた話であるとも言われています。確立された中国禅においては、「壁となって観ること」つまり「壁のように動ぜぬ境地で心理を観ずる」ことが重要な修行法として今に継承されています。修行となると大変ですが、時には自分の心と向き合う静かな時間があっていいですね。合掌

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 105



林由紀夫 (Yukio Hayashi & Associates)

今回で、隣人に関する問題の最終回です。

Q: 隣の家との境に、高さおよそ1メートルの塀があるのですが、隣の住人がキッチンの窓からいつもこちらの居間やダイニングルームを覗くので困っています。どうにか止めさせることはできるでしょうか？

A: 隣人との問題に対して再三アドバイスしていますが、まず隣人と友好的にその問題について話し合うのが良いと思います。特にこのような隣人間のプライバシーの問題に関してはそうすべきです。というのも現時点では、隣人間のプライバシーを保護するような特定の法律が無いからです。とはいうものの、私の経験から言わせていただきますと、そのような問題を隣人に友好的であれ提示しても、素直に非を認めるとは思われません。かつ、「キッチンの椅子に座って外を眺めるのは自由だ」というような返事が返ってくるのが予想されます。上述のように、そのような行為を止めさせる法律が無いわけですから、話し合いが纏れてもどこにも訴えることはできません。従って、この場合は、塀を高くしたり、木を植えたり、カーテンを付けた等、自分で対処するしかありません。但し、隣人の行為が威嚇的(threatening)であったりした場合には、警察を呼ぶことをお勧めします。

総まとめとして、隣人との問題を話し合いで解決できない場合、これまで様々な対処方法を説明しましたが、やはり一番の解決方法は所轄のローカルカウンシルに救いを求めることです。ローカルカウンシルに救いを求められる事柄の説明を以下に致します。

*危険が及ぶ可能性がある事柄(隣人の敷地内に放置された倒れそうな木、崩れそうな壁や屋根、庭に放置された可燃性液体等危険物、害虫を発生させるような環境等)についてローカルカウンシルは、修復や撤廃の命令を出すことができますので、そういう状況が発生している場合には即ローカルカウンシルに状況を説明に行くが良いと思います。

*その他の事柄(鳴き止まない犬猫などペット類、またそれらペット類の進入、違法建築、騒音、異臭、水漏れ、煙)についてもローカルカウンシルは対処できる権限を持っていますので、それら問題が発生している場合には相談に行くが良いと思います。

カウンシルに相談に行く場合は、問題を手短かに書面にして渡すことをお勧めします。また、後々のフォローのため、担当者名前も記録しておくことも良いと思います。

2015年高齢者セミナーとエキスポ

高齢者の介助サービスに関するセミナーが、3月12日(木)に、エキスポが27日(金)に、チャツウッドのDougherty Community Centreで開催されました。このイベントは、Lower North Shore Multicultural Networkが主催、Willoughby City Councilがサポートしています。

12日のセミナーにはJCSの会員など30人ほどが参加して、今年7月からの新しい高齢者福祉システムの説明がありました。エキスポには約30以上の専門分野の機関がブースを出展して、在宅介護サービスをはじめ、法律、金融などについて、それぞれのサービスの詳細を説明し、情報を提供していました。

政府としてはできるだけ無駄のないように、高齢者向け福祉サービスの提供を査定し、給付するという姿勢でいます。そのため、受給者負担も含めて、今



後は高齢者個々の実情にあったサービスが査定され、必要に応じて提供するということになります。もちろん、センターリンクによる資産査定も含まれます。

今後も、このようなセミナーの開催や情報の提供が予定されていますので、しっかりと説明を受けて理解を深めるようにしてください。

ハーモニーディナー開催

多民族・多文化社会を称揚する毎年恒例のイベント、ハーモニーディナーが3月12日(木)、シドニー西部のRosehill Gardens Racecourseで開催されました。

当日は、NSW Federation of Community Language Schoolsの一員として、JCS日本語学校を代表して、水越JCS会長、チョーカーJCS前会長、そしてHSC日本語対策委員会会長の嶋田典子さんが出席しました。

このディナーは、ベアードNSW州首相臨席の下、ドミニネロNSW州市民権・地域コミュニティー相の主催で開催され、数多くの多民族・多文化機関の関係者が出席して、NSW州のマルチカルチュラル社会を改めて認識し、その活動の推進を誓うためのものです。



ベアード州首相

ディナーには総勢1,400人もの人々が参加し、中でも子どもたちへの母語教育を推進している各エスニック学校の連合組織であるNSW Federation of Community Language Schoolsが、370名もの学校関係者を参加させていました。

NSW州では、州人口の45%が海外生まれの両親または片親を持ち、23%が家庭で英語以外の言語を話しています。州内で215の言語が話され、125の宗教があるという、まさにマルチカルチュラルなNSW州は、多様な社会を形成しています。

外食日記



刺身新鮮組

住所 Crows Nest Plaza,
103 Willoughby Rd, Crows Nest
電話 0402-359-697
営業時間 完全予約制
価格帯 \$55~
雰囲気 5
サービス 7
料理 8

しばしばお隣の夢屋さんの買い物ついでに、ガラスケースの中の新鮮なお刺身やお寿司をテイクアウトしています。5人以上集まればお寿司を握ってくれるので、いつかは食べてみたいと思っていました。ある日、限定10名まで個別参加可能な特別企画があったので、大喜びで夫と出かけました。ステンレスの調理台をテーブルに

一列に並んで腰掛け、板さんが目の前で握ってくれました。ちょっとした突き出しの後に続くお寿司の数々！くえ、スキャンピー、鱈、まぐろ、甘エビ、しまあじ+カラスミ、ヒラマサ、アナゴ、海胆、いくら、いか…どれもご飯少な目、ネタ大きめ。てんこ盛りになっていたり、ぐるっと巻いてあったり。私は途中でお腹がいっぱいになってしまい、あえなくギブアップしましたが、最後までたどり着けなかった分はお持ち帰りさせてもらいました。15貫以上は出たと思います。「刺身新鮮組」というのも幕末・明治維新期の歴史が大好きな私にはこたえられない命名です。



今月の喜怒哀楽<楽>

♥京都3泊4日の旅に行ってきました。京都といえば修学旅行、そうです高校2年生の私は寝台列車に揺られて北の果てから京都～奈良～東京の修学旅行に参加、内地のすごさに感動した次第。で、突然同級生から還暦記念の京都修学旅行のお誘いが来たのです。もちろん断る理由もなく勇んで出かけてきました。♥折しも桜が花咲く季節。天気にも恵まれ、桜の鑑賞と、当然のごとく美味しいお食事にお酒もたっぷり、40数年ぶりの級友との再会に狂喜乱舞しての“大人の修学旅行”と相成りました。清水寺に金閣・銀閣、龍安寺に南禅寺、錦市場に八坂神社、嵯峨野の竹林、嵐山と渡月橋…、楽しい日々でした。♥至る所に外国からの観光客が一杯で、道を歩くのも大変でしたが、日本にも中国人観光客が大挙として押し寄せ、爆買いと携帯の自撮り棒の姿が際立っていました。でも、金閣寺には大勢いた中国人観光客も銀閣寺にはさっぱり！やはりゴールドの魅力でしょうか。（花の還暦2年7組）

編集後記

▼4月は日本では年度の始めであり、幼稚園や学校では入園式、入学式が、会社では入社式が紅白の横断幕で飾られた式場で行われる。丁度その年度に新しい出発が始まる人たち、そしてその家族にとっては格別な思いが入る行事である。オーストラリアでは1月の終わりが年度初めだが、特にそういった特別な行事もないまま学校が始まることに最初気抜けし、ビデオを構えている自分が滑稽に思われたことを昨日のように覚えている(!)。そうした行事で親が正装して式を見守ることがないのは気楽ではある反面、人生の節目節目での特別な儀式がない寂しさもあることは否めない。(一保護者)

シドニー日本クラブ2013/14 & 2014/15年度役員一覧

| 役職 | 氏名 | 担当/専門委員会 | 電話(自宅) | 電話(会社) | 携帯電話 | E-mail |
|------|-------------|------------|-----------|-----------|--------------|-----------------------------------|
| 名誉会長 | 高岡 正人 | 在シドニー日本総領事 | - | - | - | - |
| 相談役 | 水野 亮三 | | - | - | 0422-853-456 | roymizuno@hotmail.com |
| 会長 | 水越 有史郎 | 教育・福祉 | 9358-3269 | 9252-6307 | 0412-283-393 | miz@jams.tv |
| 副会長 | 岩佐 いずみ | 事務・行事 | 9412-3434 | | 0421-776-052 | jcs@japanclubofsydney.org |
| 副会長 | 渡部 重信 | 編集長 | 8901-4332 | 8901-4334 | 0412-396-014 | hbma@optusnet.com.au |
| 理事 | Chalker 和子 | 教育・行事 | 9810-6735 | - | 0404-043-393 | kazukoch9@gmail.com |
| 理事 | Costello 久恵 | 教育支援委員会 | - | - | 0423-976-035 | jcs.daihyo@hotmail.com |
| 理事 | 山田 朝子 | 教育支援委員会 | - | - | 0416-531-806 | rikukohmei@tpg.com.au |
| 理事 | 藤田 結花 | 事務局長 | - | - | 0421-776-052 | jcs@japanclubofsydney.org |
| 理事 | 新開 珠貴 | 行事 | 9439-0095 | - | 0409-255-474 | shinkai_t.au@jtbap.com |
| 理事 | 多田 将祐 | 行事 | 8807-4795 | - | 0404-187-579 | kenerit@gmail.com |
| 理事 | 平野 由紀子 | 行事 | - | - | 0414-758-295 | yukikosal@yahoo.co.jp |
| 専門理事 | 林 さゆり | 親睦の会会長 | - | - | 0412-019-878 | shayashi@global-promotions.com.au |
| 専門理事 | Fraser 悦子 | コミュニティーネット | 8920-1764 | - | 0408-643-420 | etsuko@mediaetsuko.com |
| 専門理事 | Joannes えみ | City校代表 | - | - | 0407-461-618 | jcs-jpschcity@hotmail.com |
| 専門理事 | 松井 香代子 | Dundas校代表 | - | - | 0411-734-819 | jcs-jpschdundas@live.com |
| 監事 | Richter 幸子 | 会計監査 | 9972-7890 | 9452-2671 | 0414-667-438 | richjms@bigpond.net.au |
| 監事 | 八郷 泉 | 会計監査 | - | 9335-8913 | - | ihachigo@kpmg.com.au |

| JCS傘下グループ・団体 | 代表・担当者 | 携帯電話 | Email |
|--------------|------------|--------------|-----------------------------------|
| 親睦の会 | 林 さゆり | 0412-019-878 | shayashi@global-promotions.com.au |
| コミュニティーネット | Lincoln 瑞枝 | 0449-581-683 | mizue44@hotmail.com |
| シドニーソーラン踊り隊 | Chalker 和子 | 0404-043-393 | kazukoch9@gmail.com |
| ソフトボール部 | 加藤 雅彦 | 0402-011-198 | ckato@nmpa.com.au |
| レインボープロジェクト | 平野 由紀子 | 0414-758-295 | yukikosal@yahoo.co.jp |
| 編集委員会 | 渡部 重信 | 0412-396-014 | hbma@optusnet.com.au |

会員特典



JCSの会員の皆さんが受けられる特典です。ぜひ、ご利用ください。

エーブルネット

Suite 30, Level 17, 327 Pitt Street, Sydney 2000
Phone: 02-9264-9601

Email: info3@able.net.au WEB:able.net.au

①SIMだけ\$9プラン(スマホ持ち込みの方におススメ)
国内通話は最安の\$0.17/30と、\$10で約30分間通話可能。しかもSMS50回/毎月無料、データ500MB付。
②アンリミテッド\$39プラン(国内通話が多い方におススメ)
国内通話/SMSは無制限、データ500MB付。データ容量だけ増やし、毎月自分に合ったプランにアレンジ可能。
特典:7カ月以上の契約でデータ申請手数料\$15無料

NBCA PTY LTD

Suite 1001, Level 10, 307 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02) 8999-2440 Fax: (02) 9261-0252

担当:人材(高橋)、ビザ(山口)、留学(上田)

Email: info@nbca.com.au www.nbca.com.au

ビザ申請及び人材紹介費用につきましては、JCS会員のみ通常の料金から10%の割引にさせていただきます。留学につきましては、JCS会員のみ通常料金から特別割引させていただきます。(学校によりこのサービスの対象にならないものもございます。)

甘利鳥居会計事務所

Suite 1003 Level 10, 84 Pitt Street, Sydney 2000

Phone: (02)9223-7448

E-mail: info@taxjp.com.au

新規顧客に特典

JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。

同時にお二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

プラネットヘア(日本人美容室)

Level 2, 61 Market Street, Sydney 2000

Phone: (02) 9267-4881

JCS会員の方は平日15%Off、土日は10%Offになります。また、平日2時までに2人以上でご来店の場合20%Off(カットは15%Off)

日本の器具、商品を使用していますので、安心してご来店ください。特に白髪染めは植物100%のヘナを使用し、パーマは髪のコシがない方には十仁パーマをお勧めします。詳しくはwww.planethair.com.au/jp/を見てください。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool St, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

13,000冊の日本のコミックと、日本から毎週届く最新雑誌各種が読み放題!息抜きに、お待ち合わせまでの空き時間に、お子様の日本語のお勉強にも…。

シティの真ん中の癒し空間、ほんだらけマンガ喫茶スペース「FOBラウンジ」を是非ご利用ください!こちらのJCSクーポンをご持参いただくと、30分無料でご利用いただけます。(1枚に付き大人1名+子供2名まで利用可)

Rumiko's Creation ROCOMI Beauty Circle

Mobile: 0402-178-519

お肌の大敵、乾燥や紫外線…みなさん、毎日のスキンケアはどうしていますか?

きれいで健康なお肌は、健やかな毎日の“ビタミン美”…和漢植物エキス配合の薬用化粧品をぜひお試しください。店頭では手に入らない日本からの直輸入品です。

★JCS会員特典:初回ご購入の際に、ご購入合計金額より5%割引。さらに洗顔時の必需品、ソープネットをプレゼント!お気軽にご連絡下さい。

JTTディスカウント日本食販売

Phone: (02) 9317-2500

Fax: (02) 9669-1988

Email: info@jtt.com.au www.jtt.com.au

お申し込みの際に「JCS会員」と明記ください。会員の方は5%割引とさせていただきます。

\$200以上のお買い物の場合は無料配達サービスを行っています。(※配送可能地区、曜日はホームページまたはお電話にてご確認ください。)

そらまめ

Email: classes@soramame.com.au

www.soramame.com.au

Mobile: 0402-961-907

そらまめは、マクロビオティックのクッキングクラスや個人の献立プラン、コンサルテーションも承ります。JCS会員の方には、クッキングクラスとコンサルテーションの費用から1名様\$10割引をいたしますので、お申込みの際にお知らせください。お申込み、お問合せはウェブサイト、またはEmailでお気軽に♪

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
 PO Box 1690, Chatswood NSW 2057、電話:0421-776-052(9時~18時)
 Email:jcs@japanclubofsydney.org(藤田結花)まで。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、編集長の渡部重信(Email: hbma@optusnet.com.au)
 または、JCS事務局宛にEmailか郵送にてお送りください。

入会案内

入会をご希望の方は入会申込書に必要事項を記入のうえ、入会金と年会費を添えてJCS事務局までご返送ください。入会申込書はサイトからダウンロードできます。

- ①入会申込書に、入会金 \$33 と年会費 \$70 の合計 \$103 (GST 含む) 相当の小切手かマネーオーダーを添えて、事務局までご送付下さい。現金は受け付けておりません。海外会員・法人会員の場合は入会金なし、年会費 \$110 (GST 含む) です。
- ②ボランティアによる運営のため、事務処理に多少時間がかかる場合があります。会報「JCSだより」(月刊)の送付まで最高2ヵ月を目処として下さい。
- ③住所・家族構成に変更があった場合は、会報送付の宛名用紙の「登録事項変更届」に記入のうえ、事務局までお送り下さい。
- ④入会金・年会費は変更される場合があります。

If you want to join the JCS, please fill in the application form and send it with an appropriate cheque to: Japan Club of Sydney PO Box 1690, Chatswood NSW 2057. If you have any queries, please call on 0421-776-052.

- (1)Please fill out the form & send it to the address above with a cheque or money order for the joining fee \$33 plus the annual membership fee \$70, total \$103 (inc.GST). DO NOT send cash. For overseas members or corporate members there is no joining fee but the annual membership fee is \$110.00 (inc.GST).
- (2)The Club is run by volunteers, who will process your application. Please note that it could take up to 2 months before you receive our monthly newsletter for the first time.
- (3)Should there be any change in your address etc, please let us know without delay c/- the above address.
- (4)Please note that both the admission fee & the annual fee of the Club are subject to change without prior notice.

JCSだより広告案内と申込書

広告締切は毎月15日です。広告(完全版下)と小切手(前払い)を、PO Box 1690, Chatswood NSW 2057までお送りください。

| 広告スペース | 広告サイズ | 料金 (1回のみ) | 会員割引料金 (1回のみ) | 会員割引料金 (6~11ヵ月) | 会員割引料金 (12ヵ月以上) |
|-----------|---------------|--------------|------------------|-----------------------|--------------------|
| 1 ページ | 横17cm×縦25.5cm | \$ 220.00 | \$ 176.00 | \$ 154.00(月額) | \$ 132.00(月額) |
| 1 / 2 ページ | 横17cm×縦12.5cm | \$ 132.00 | \$ 99.00 | \$ 88.00(月額) | \$ 77.00(月額) |
| 1 / 3 ページ | 横17cm×縦8.2cm | \$ 99.00 | \$ 77.00 | \$ 66.00(月額) | \$ 55.00(月額) |
| 1 / 6 ページ | 横8.2cm×縦8.2cm | \$ 55.00 | \$ 44.00 | \$ 38.50(月額) | \$ 33.00(月額) |
| 折り込みチラシ | A 4 サイズ以内 | \$ 440.00 | \$ 330.00 | ※非会員の継続掲載にも、継続掲載割引あり。 | |

「JCSだより」では皆様からの広告を募集しています。本誌は会員に直接送付されますので、格安な料金で浸透力のある広告効果が得られます。お申し込みの際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、掲載する完全な広告原稿(サイズを守り、読みやすくはっきりと仕上がったアートワーク)を、小切手(宛名は、Japan Club of Sydney)と共に事務局宛(PO Box 1690, Chatswood NSW 2057)お送りください。全額前払いをお願いしています。締切は毎月15日必着です。

※折り込みチラシは、A4サイズ以内で印刷されたものを、部数分ご用意ください。(現在の部数は約400部です)

※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。

※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

● JCSだより広告申込書 ●

広告スペース 1 ページ 1 / 2 1 / 3 1 / 6 折り込みチラシ

料 金 \$ _____ (\$ _____ × _____ 回)

期 間 20__年__月号のみ 20__年__月号 ~ 20__年__月号まで__回

会社名 _____ 担当者 _____

住 所 _____

電 話 _____ FAX _____ Email _____